

行政事業レビューシート (文部科学省)

予算事業名	分子イメージング研究プログラム	事業開始年度	平成17年度	作成責任者		
担当部局庁	研究振興局	担当課室	研究振興戦略官付	研究振興戦略官	渡辺 正実	
会計区分	一般会計	上位政策	ライフサイエンス分野の研究開発の重点的推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計 画、通知等	第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定) 健康研究推進戦略(平成21年7月健康研究推進会議 決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	生物が生きた状態のまま外部から生体内の遺伝子やタンパク質などの様々な分子の挙動を観察する分子イメージング技術について、創薬候補物質の早期スクリーニングによる創薬プロセス改革や疾患の超早期診断等の、21世紀型の革新的医療への応用を目指す。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	PET(Positron Emission Tomography)を用いた創薬の候補となる物質の探索を行う拠点及び疾患の診断技術の研究を行う拠点を設置し、分子イメージング研究開発に関する基盤技術の開発、施設・設備の整備、大学と連携した人材の育成を図るとともに、大学・研究機関・民間との共同研究を実施し、分子イメージング研究分野におけるオールジャパン研究体制を構築する。					
実施状況	創薬の候補となる物質の探索を行う拠点として理化学研究所を、PETを用いた疾患の診断技術の研究を行う拠点として放射線医学総合研究所を採択し、高比放射能プローブ開発等による分子イメージング技術の飛躍的向上や疾患モデル動物における機能評価法の確立、創薬候補物質の標識化や薬物動態などの基盤技術の開発等を実施(13機関を採択・連携)するとともに、分子イメージング研究をサイエンスとして根付かせるための若手研究者・技術者等の人材育成(3機関を採択・連携)を行っている。 平成21年8月科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会ライフサイエンス委員会において事後評価を行い、「研究者を結集した拠点が整備されるとともに、基盤技術の開発として十分な成果をあげており、今後は、創薬プロセスの革新や疾患診断の高度化等への活用を図るべく、国家プロジェクトとして、引き続き分子イメージング研究を推進することが必要不可欠」と評価された。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	1,355	1,200	1,085	530	500
	執行額	1,355	1,200	1,085		
	執行率	100.0%	100.0%	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	1,355	1,200	1,085		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	○毎年度現地における額の確定作業において実績報告書等の確認を行うとともに、必要に応じて状況調査を行うことにより、支出先・用途を具体的に把握している。				
	見直しの 余地	○本事業に求められている役割について改めて見直し、確立した技術を少しでも早く医療の現場に提供するため、国民のニーズが高く、政策的に重要な分野を対象を絞った応用研究に特化して、大学等の研究機関と理化学研究所・放射線医学総合研究所の両拠点が連携した共同研究を推進すべき。 ○本事業から理化学研究所・放射線医学総合研究所への委託について、理化学研究所・放射線医学総合研究所運営費交付金による研究との役割分担を明確化し、研究費間の重複が起こらないよう常に留意すべき。				
予算・ 監視 の・ 所効 見率 化	1. 事業評価の観点:この事業は、分子イメージング研究分野におけるオールジャパンでの研究体制の構築を目指す競争的資金である。 2. 所見:この事業は、平成22年度から「分子イメージング研究戦略推進プログラム」として、昨年11月の事業仕分け等も踏まえて第2期のプログラムを開始したところであるが、研究拠点となっている理化学研究所及び放射線医学総合研究所が行う他の業務とのさらなる連携による効率化を図るなど、予算を縮減すべきである。また、「平成23年度科学・技術重要施策アクション・プラン」に沿って資金の使用ルール等の統一化及び簡素化・合理化を進めるなど、研究者にとって使いやすく、かつ、国費が有効に使われるような事業にしていくべきである。					
補 記						

文部科学省
1,085百万円

諸謝金 0.8百万円
職員旅費 0.1百万円
委員等旅費 0.6百万円
庁費 0.4百万円

を含む

分子イメージング研究拠点・
共同研究・人材育成実施機関
を審査・選定し、マネジメントを
実施

【公募等・委託】

A:分子イメージング研究拠点
:769百万円
独立行政法人等(全3機関)

基盤技術の開発 等

【公募・委託】

B:共同研究実施機関:214百万
円
大学等(全13機関)

拠点との共同研究の実施

【公募・委託】

C:人材育成:100百万円
大学(全3機関)

拠点と連携した人材の育成

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるように記
 載)

A. (独)理化学研究所					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	業務担当職員、補助者	164			
消耗品費	ガス類、実験動物類、理化学器材類、試薬類、低温液体	141			
派遣費	派遣料	41			
設備備品費	マウス血中動態測定装置、自動合成装置機器改良	19			
旅費	国内旅費、海外旅費	18			
雑役務費	学会参加費、シンポジウム、薬剤安全性試験費	9			
その他	諸謝金、会議開催費、通信運搬費、印刷製本費	1			
計		393	計		0
B. 京都大学					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	プラスチック・ガラス器具類、化学合成用試薬類、スクリーニング用試薬類、実験動物、標識用器具・試薬類	18			
人件費	業務担当職員、補助者	11			
動物飼育管理費	動物飼育管理料	7			
その他	国内旅費、海外旅費	2			
雑役務費	マウス胚保管料、微生物検査費	1			
計		39	計		0
C. 東北大学					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
設備備品費	酸素15標識水合成装置、倒立型リザーチ顕微鏡、高感度HPLC放射能検出器	31			
人件費	業務担当職員	9			
消耗品費	PET検査関係、試薬類、器具等	4			
旅費	国内旅費、外国人等招聘旅費	4			
その他	諸謝金、通信運搬費、印刷製本費、借損料、学会参加費、保守点検費	2			
計		50	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

A: 分子イメージング研究拠点

	支出先	支出額(百万円)
1	独立行政法人理化学研究所	393
2	独立行政法人放射線医学総合研究所	366
3	独立行政法人科学技術振興機構	10
合計		769

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

B: 共同研究実施機関

	支出先	支出額(百万円)
1	国立大学法人京都大学	39
2	国立大学法人大阪大学	36
3	順天堂大学	30
4	(株)ジェイファーマ	28
5	国立大学法人東京医科歯科大学	18
6	岐阜薬科大学	17
7	国立大学法人岐阜大学	16
8	前橋工科大学	9
9	国立大学法人群馬大学	5
10	独立行政法人理化学研究所	5
⋮	その他	11
合計		214

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

C:人材育成

	支出先	支出額(百万円)
1	国立大学法人東北大学	50
2	国立大学法人大阪大学	25
3	国立大学法人浜松医科大学	25
合計		100